学校番号	213

令和８年度　理科

教科	理科	科目	化学	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高等学校 化学」（啓林館）						
副教材等	センサー　総合化学（啓林館）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

化学基礎の内容を基本として、日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め，目的意識を持って観察，実験などを行い，科学的に探究する能力と態度を身につけるとともに，化学の基本的な概念や原理・法則を理解し，科学的な見方や考え方を養う。

2　学習の到達目標

＜知識及び技能＞
物質の状態変化，状態間の平衡，溶解平衡および溶液の性質について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付ける。探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につける。
＜思考力・判断力・表現力等＞
問題を見いだし、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現する力を身につける。
＜学びに向かう力・人間性等＞
学習内容を深めるとともに，日常生活や社会との関連を図りながら主体的に探究しようとする力や科学的な見方や考え方を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	化学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けている。	化学的な事物・現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 化学的な事物・現象に関する実験、観察などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	化学的な事物・現象に関心をもち、主体的に探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	物質の状態	固体の構造 物質の状態変化 気体の性質 溶液の性質	a：物質の沸点、融点を分子間力や化学結合と関連付けて理解し、状態間の平衡と温度や圧力との関係についての知識を身につけている。 b：理想気体の状態方程式について考察し、導き出した考えを的確に表現している。 沸点上昇・凝固点降下・浸透圧の現象を考察し、的確に表現している。 c：物質の状態の違いに興味をもち、身近な現象について意欲的に探究しようとする。	課題評価 定期考査	課題評価 定期考査	課題評価 振り返りシート
2学期	物質の変化と平衡	化学反応と熱・光エネルギー 化学反応と電気エネルギー	a：化学反応におけるエネルギーの出入りについての知識を身につけている。電池や電気分解では、酸化還元反応とエネルギーの変換についての知識を見つけている。 b：熱化学方程式を考察し、導き出した考えを的確に表現している。起電力を求める実験を行い、得られた結果を的確に記録、整理している。 c：身近な電池について興味を持ち、電気エネルギーと化学エネルギーの関係について意欲的に探究しようとする。	課題評価 定期考査	課題評価 定期考査	課題評価 振り返りシート

3学期	物質の変化と平衡	反応速度 化学平衡	a: 反応速度が濃度、触媒などの影響を受けて変わることについての知識を身に付けている。化学平衡の移動について、ルシャトリエの原理を用いながら的確に表現している。 b: 平衡定数や電離定数を求める実験を行い、得られた結果を的確に記録、整理している。 c: 可逆反応、化学平衡について興味を持ち、化学平衡の移動について意欲的に探究しようとする。	課題評価 定期考査	課題評価 定期考査	課題評価 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度